



やらまいか

例会日/毎週火曜日 12:30 例会場/豊川商工会議所

会長/高桑 耐 幹事/大木健市 会報委員長/池田 弘

事務局/豊川市豊川町辺通 4-4 豊川商工会議所会館内 TEL0533-86-2535 Fax0533-86-8889

HP/<http://toyokawahoi.tank.jp>

クラブテーマ: ENJOY ROTARY 絆、みんな仲良く、クラブの未来へ

| | | | | | |
|----------------------------------|------|------|------|-------|------------|
| 本年度第29回 通算1283回 平成25年1月29日(火) | 出席報告 | 会員総数 | 出席者数 | 出席率 | 3/25 修正出席率 |
| | | 58名 | 31名 | 64.6% | 98.1% |

ゲスト:(なし) ビジター:(なし)

★会長あいさつ

高桑 耐会長



こんにちは。本日は残念な報告をさせていただきます。会長エレクトの森下武治さん

から、体調不良と病気療養の理由から、会長エレクトの辞任届けが出ました。非常に残念ですが、治療に専念して頂くために受領しました。それに伴って、先ほど臨時の次年度理事役員会を開催しました。今後については、クラブ細則第3条・第4節に沿って意見交換をしました。初めてのケースですので、慎重審議をして、次年度理事役員の中から選出しようというところまで決定してきました。来週中には決まってくると思います。現在の途中経過報告になりますが、皆さんにお知らせします。森下さんの辞任は大変に残念ですが、森下さんが一日も早く良くなることを願っております。

27日の日曜日に、東三河分区IMが開催されました。400名ぐらいのロータリアンが出席して行われました。ガバナーから2つのテーマから選ぶように言われ、一つは、東日本大震災の復興に関する事。もう一つは、平和についてです。当地区は、東日本大震災の復興についてのテーマを選んで、基調講演とパネルディスカッションが行われました。

★幹事報告

大木健市幹事

例会臨時変更のお知らせ
豊川東部中学校からのお礼状

★東三河分区IMの報告会

◎藤原規彰会員の報告

アークリッシュ豊橋で392名のロータリアンの参加するなか、松井昭ガバナー補佐の挨拶でIMの式典が始まりました。



松井ガバナー補佐の挨拶は、アメリカにおける9.11で大変な予算措置が行われて復興に邁進をした。しかし、日本における3.11は、そうではなかった。未曾有の危機の時には、非常の措置を取るべきではないかという話がありました。

続いて次期ガバナー補佐の赤井さんの挨拶がありました。ロータリー歴は長いが貢献が出来ていないので、肩の荷は重いが恩返しをしたいとのご挨拶がありました。

中日新聞社社長の小出宣昭氏による基調講演がありました。まず、阪神大震災における取材の様子の話がありました。最新の機器の導入をしたが電源の確保が出来ず、すべて使用不能であったこと。急ぎよ紙と鉛筆を送ったが、若い記者が漢字を変換してくれるパソ

コン慣れしているために、漢字が書けず、全てひらがなで送信してくるために受ける側が大変に困ったこと。現地ではケガ人が大勢いた中、若い医師は水と電気が無いと何も出来ないと言い出したが、そこで活躍したのは老練な医師であったこと。今では近代的機器、デジタル機器がないと何も出来ない、大災害時には、デジタル機器は全て使用不全なるので、超アナログ志向が必要であると実感したことなどをエピソードを交えて講演して頂きました。

続いて、3.11の東日本大震災の話になりました。七十七銀行のある支店では、災害マニュアルに沿って行動したが20名程の支店職員は全員死亡したそうです。一方で仙台銀行のある支店では、マニュアルを無視して行動したため、全ての職員が無事に生還できたそうです。このことから言えることは、災害はマニュアル通りにはやってこない。マニュアルは責任回避の材料としかならず、マニュアル通りにやれば責任は問われないというのが、認識されているところです。緊急時には民主的に議論することは、愚かなことで時間との戦いである。大災害は目に見えるものをバラバラに破壊するだけでなく、心の中までバラバラにする。

その後、話が飛躍して、個人情報保護法は、悪法である、世界でもこんな法律はない、人と人との助け合い精神がなくなってしまう。役所もこれを盾に取って、出来ない、出来ないと言っておけば楽である。さらには、被災地に住んでいた人も把握出来ないことも招いているとの話がありました。私も仕事柄、個人情報保護法を意識しないと出来ない立場にありますが、矛盾と不便を感じている一人です。

最後に、今忘れかけている東日本大震災に思いをはせることは、非常に大事なことであり、ロータリークラブがこのような企画をされたことに感謝をしていますと講演を締めくくられました。

基調講演の後に、震災地からの現場報告とパネルディスカッションが行われ、16時から懇親会が行われIMが無事に終了しました。

◎大場篤会員の報告

こんにちは。IMの報告をさせていただきます。震災地からの現場報告のこ



について報告します。三陸鉄道株式会社の望月社長さんと三陸河北新報社の桂常務さん、それぞれがプロジェクターを使って、写真などで震災前、震災後、復興の様子などの報告をしてくださいました。そのあと、中日新聞の小出社長さんも交えてパネルディスカッションがありました。

中日新聞の小出社長からは、日本人の震災時における対応がとても素晴らしい。食事をもらうのにも静かに整列をしている。過去のロスの震災、ナポリの震災では、他の国からボランティアの人たちが来て、そのボランティアの人たちが泥棒に変わってしまう。救援物資が各国から届くのを横流ししたりする人が出る。日本では、そんなこともなく冷静にみんなが対応している。人のことを思いやる心をこれからも大切にしてほしい。

新幹線が東日本大震災の時には、負傷者を出すことなく停止している。日本は安全性も保たれている。このようなことは、国民的財産であるとの話がありました。

◎浅野晋会員の報告

今回のIMで2回目の参加になります。今回のIMのテーマは「3.11大震災から学ぶ おもいやり 支えあう 日本



のゆくえ」ということで開催されました。

報道関係者は左に寄った人が多いのかなあと勝手に想像していました。小出社長の話を聞いていますと、熱い情熱と高い志を持って日本の様々な分野のことを考えているのだと感じました。

災害は、戦争と同じで緊急事態である。マ

マニュアル主義で動いても何の役にも立たない。その場その場で臨機応変に動いて対応していくことが緊急事態で一番良いことであると話されたことがとても印象深かったです。新しく作ったマニュアルは、机上で作ったものだから、色んな場面には役立たない。一番役立つのは、昔ながらの言い伝えなどが緊急時には役立ったりするもの。緊急時に物事を進めていくには、すんなりいった時には上手くいかない、色んな分野、様々な考え方で右や左へ行って進めて到達したときには、物事に対応できる内容になるとのことです。

個人情報保護法の話ですが、地域社会の密着やつながりが弱くなってきているのかなと私も感じます。災害が発生した時に、近所に誰がいるということも普段の生活の中で保護法があって教えられないと言われると、震災の時に救出や間違えが出てしまうことが考えられます。個人情報を強く言われる人に限って、スーパーなどの懸賞には簡単に名前を書いたりしている人を見かけると、本当に個人情報保護法というものは、上手く機能しているのかどうなのかと疑問に思います。

パネルディスカッションでは、三陸鉄道の望月社長が、マニュアルに従った復旧復興では到底出来ない、柔軟な発想と情熱を持って、素早い復旧に挑んだことを報告され感銘を受けました。三陸河北新報社の桂常務の話では、日本は火事場の泥棒がいらないことが素晴らしいと言っていました。

震災があつて暫くしてから、有志のゴルフの会で義援金を集めました。取りまとめた人の希望もあり、南三陸町の親御さんを亡くした子どもが沢山いるから、そこにピンポイントで義援金を送りたいということになり、南三陸町新聞社に連絡を取りました。社屋が壊滅状態で義援金を送られても対応が出来ないと断られました。相当な被害と自分たちの事だけで手一杯であったようです。ピンポイントに義援金を送ることはあきらめて、東愛知新聞社を通じて義援金の寄付をしました。

今回のような震災の状況になった時に、柔軟に対応し、情熱と行動力を持って対応することは大切だと感じました。

◎井指和昭会員の報告

IM の感想を言います。三陸鉄道株式会社の望月社長の言葉が印象に残っています。昭和 59 年全



国初の第三セクターとして、この三陸鉄道株式会社が出来ました。震災後 3 日で 11 キロの区間に鉄道を走らせた。非常に凄いことをされた社長だと思いました。震災前から赤字続きだったのも関わらず、震災後の 1 年間、乗客の方にはワンコインの 100 円で乗車させたことも凄いことだと感じました。

例えば、私たちが震災を受けた時に、何が出来るのかと考えたところ、正直何も出来ないのではないかと思います。三陸鉄道の社長の様に、何かを皆さんの為に行うという事が、どれだけ大変で、どれだけ凄いことかということについて感銘を受けました。

★ニコニコボックス

| | |
|--------|--------------|
| 大岩一仁会員 | 名古屋支店開設祝いのお礼 |
| 伴 辰三会員 | 誕生日を祝って頂き |
| 伊藤正幸会員 | 〃 |
| 内藤泰通会員 | 結婚記念日を祝って頂き |
| 高桑 耐会員 | 〃 |
| 井指和昭会員 | 事業所創業を祝って頂き |
| 原田邦夫会員 | 〃 |
| 滝下 勲会員 | 入会記念日を祝って頂き |
| 大木健市会員 | 〃 |
| 浅野 晋会員 | 〃 |

| | |
|---------------|----------|
| クラブ目標：会員増強純増 | 3 名 |
| クラブ目標：R 財団寄付額 | \$ 100/人 |
| 現在の状況 | |
| 会員増強 | 純増 1 名 |
| R 財団寄付額 | \$ 74/人 |

会報担当者：池田 弘会員、杉浦元保会員
このウィークリーは再生紙を使用しています。